

## 若者タウン構想の進捗は

町長…来年度予算に調査費を計上し進めていく



大山 二郎 議員



一步前進、若者タウン構想（駅東側）

町長の安閑口である駅前通りでも聞こえない。安全安心の町にするため、増設を含め再考すべきだ。町長 全ての世帯で聞こえるようにするには至難の業だが、スピーカーの向きを変えても万全では

### 町の諸課題を問う

①防災放送システムの聞こえない地区がある

経費も同程度なら町民や地域の関わり等、教育上の観点から廃校舎のプールとして利用しては。教育委員長 廃校舎にあるプールは古く、通常の管理も難しい。また大規模改修の必要と問題も多い。関係者と十分に検討した結果なので理解してほしい。来年は六月からセントラルプールを使用できるよう協議していきます。町長 教育行政上の掌握事項であり、教育委員会で方向性を検討すべき事です。

### ②廃校利用について

課長会を検討委員会とすると聞いたが、どういう話になっているのか。町長 利用については検討しているが、解体する施設もあり。今後検討を続け、一定の方向付けができた段階で説明します。

### ③高齢者福祉計画について

議会報告会でも施設とベッド数が足りない、増やしてほしいとの要望がある。まず福祉計画に増床数を明示すべきと思うが、考えはあるのか。町長 来年度からの第五期計画策定を急いでいます。県の中間報告を参考にしたいと数は決まらないうが、町の充足数は確保したい。

### ④若者タウンについて

構想は進捗しているのか、また人口増加策として他市町ではやっている助成制度等、定住化策をやるべきだ。町長 駅東地区は利便性も高く、宅地開発は不可欠です。土地開発公社にお願いしているが、来年度調査費を計上し事業を進めていきます。助成制度は民間開発業者と相談しながら町が出来ることを考えていきたい。



あつたまりランドに被災者 284 名を招待



小玉 勇 議員

### 町の被災地支援はどうしたの？

鶴岡市の花火大会に被災地の子どもたちを招待。スイカ400個をプレゼントした尾花沢市等の新聞記事を見る。町はどんなことをしたのか。

町長 県が呼びかけ実施した「観光資源を活用した被災者支援温泉ツアー」では地元の観光業者の協力のもと、石巻市の被災者を対象に6月末から8月末まで14日、284名の方々があつたまりランドに宿泊しています。もちろん全額県と町負担です。大石田祭りへの招待はできませんでした。が、そば街道の皆さんの協力のもとそば振舞いを実施しました。

更に社会福祉協議会によるボランティア活動や県の計画に沿った職員協力として岩手県山田町に2名派遣しました。これからも長期にわたる支援が必要とと思っています。

### 町のシンボル大橋をどうするのか

川において橋げたを見たと相当痛んでいる。大型車も通るが大丈夫なのか。町長 大橋は昭和6年に完成し約80年が経過します。大石田と横山両地区の中心部を結ぶ重要な路線でもあるので、老朽化は進んでいるが、できる限り長く利用できればと思っています。県では、現在も交通規



老朽化の激しい町のシンボル大橋

制等の必要性はないとの認識を持っています。先般の東日本大震災による損傷もないというところで、町として安堵して

います。県との連携はかりながら対応していきます。

どんな被災地(者)支援をしたのか  
町長…あつたまりランドに284名招待しました